

帰宅時に愛犬が大喜びで出迎えてくれることほど、うれしいことはありませんよね。アニコム損保の「どんなときにペットを家族の一員と感じますか」というアンケートでも、半数（44.6%）が「帰りを迎えてくれるとき」と答えています。しかし、喜び過ぎて毎回失禁してしまう、というケースを聞くことも。かわいい半面、困りごとにもなりますね。

通称「うれしょん」と呼ばれるこの行為は、膀胱括約筋が瞬間的に緩み、尿が漏れてしまう現象です。子犬期には生理現象として仕方がない部分もあり、成長すれば治まることがほとんどです。また、

あ
ん
し
ん
！
ペ
ツ
ト
ラ
イ
フ

53

「うれしい！」の表現方法

依存心や服従心の表れの場合もあり、人なつこくて甘えん坊な優しい性格の子に多いようです。小型犬や雌犬に多い傾向があるともいわれています。

できるだけ防ぐためには、「興奮しても良いことがない、落ち着いていると飼い主に注目してもらえる」と根気よく学習させることが最善の方法です。まず、犬が興奮している間は相手にしないようにします。帰宅時に「良い子にしていたね！」となでたくなりますが、それでは余計に犬を興奮させることに。声を

掛けたり、目線も向けたりしない方が効果的です。犬が諦めて落ち着いたたら、初めてかまってあげましょう。なでると再び興奮する場合は声を掛けるだけ、目線を向けるだけでも十分です。

ペットに人間社会の常識に合った生活をさせる「しつけ」は、何とも根気のいるものです。ですが、その子の性質を理解し、一緒にステップアップすることで彼らは唯一無二の家族となることでしょう。

（アニコム獣医師
金子真未）